

大謝名小のスタ場!!!

2022, 7, 13(水)

第6号

宜野湾市立
大謝名小学校

校内新聞

「スタ場」とは、「スタートの場」「スタディの場」「スターの場」を表しています。



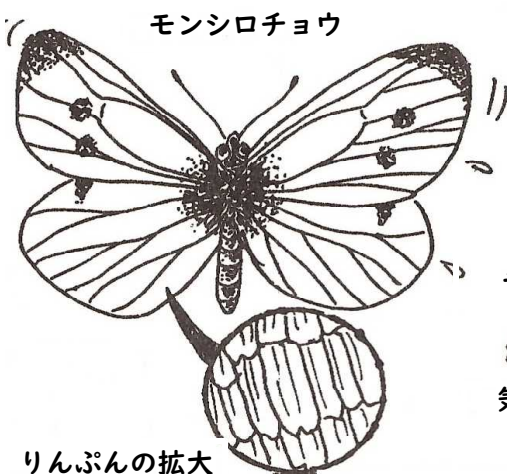
ときおり、強い雨の降る外では、こん虫たちはどのように過ごしているのでしょうか。こん虫にとっては、雨つぶもでかい水玉になるでしょうし、花びらをちらす風にも吹き飛ばされそうになることでしょう。でも、天気が回復すると姿を見せることから、ちゃんと生きていることがわかりますよね。



オオゴマダラ

雨の日、チョウ達は葉のうらに羽をたたんで、ぶら下がるように止まっています。羽をそっと指でさわってもぬれていません。そのかわり指には、羽の粉（鱗粉・りんぷん）がつきます。チョウの体や羽は、鱗粉（りんぷん）が屋根のかわらのように重なり合っておおっています。また、鱗粉がはげ落ちてても、皮ふは防水がきいているので、ずぶぬれにはなりません。

幼虫のアオムシはどうでしょう。体の表面には、小さな毛がたくさん生えていて、水をはじくしくみになっています。でも、卵からかえったばかりの小さな幼虫は、おぼれたり、雨に打たれて死ぬものもいます。虫は口ではなく、体の横にある気門（きもん）で呼吸をしているので、体が水につかるとちっそくて死んでしまうのです。



モンシロチョウ

りんぷんの拡大

毛で水をはじく

チョウの幼虫

気門（空気が出入りして呼吸する）



（文責・スケッチ：玉村かおり）